

第29回 全国サイクリングラリー—秋田県大会

みちのくの男鹿半島を中心に8月24～25日開催

第29回全国サイクリングラリーが、8月24(土)～25(日)「みちのくの男鹿半島で友情の輪を広げよう」をテーマに秋田県の男鹿半島を中心に、全国より1,600名のサイクリストを集めて開催されることが決まりました。参加希望者は参加料を添えて5月10日頃までに所属協会に申し込んで下さい。開催要項と参加申込書は、3月中旬に各都道府県協会に送られます。

主催：(財)日本サイクリング協会

主管：秋田県サイクリング協会

参加料： 会員 10,000円、一般 12,000円
(一泊2食、昼食2食、記念品、傷害保険)ただし、(Cコース参加の方はバス、トラック代として別途2,000円プラス)

参加資格： JCA及び各都道府県協会が認めた者で、自己の責任においてサイクリングのできるもの。

定員： 1,600名(定員になり次第締切)

会場： 集合場所(秋田市八橋運動公園)

開会式(秋田市文化会館)

閉会式(男鹿市)

宿舎： 男鹿温泉各ホテル、旅館

日程：

第1日(8月24日)

7:30～8:45 集合受付(八橋運動公園)

9:00～9:50 開会式

10:00～ 実走出発

16:00 宿舎到着

16:00～18:00 交歓会

第2日(8月25日)

8:30～ 実走出発

14:00～ 閉会式

コース：(第1日)

A、大湯、寒風山コース(71km)

開会式場—追分—昭和町—八郎潟町—大湯村—野石—角間崎—浦田—寒風山—男鹿温泉

B、天王、寒風山コース(58km)

開会式場—臨海道路—秋田港—出戸浜—天王—脇本—寒風山—男鹿温泉

C、市内コース(26km)

開会式場—秋田市市内—県立博物館—(バス輸送)—寒風山—男鹿温泉

(第2日)

D、戸賀、大棧橋コース(43km)

男鹿温泉—入道崎—戸賀湾—大棧橋—門前—船川

免責事項：

大会参加中の事故は、加害、被害とも各人の責任とし、交通傷害保険の給付限度以上の保障には、応じられません。

注意事項：

- 大会への参加は、宿泊を原則とします。
- 大会事務局に納入された参加料等は、不参加の場合でも返却いたしません。

大会事務局：

秋田県サイクリング協会内

第29回全国サイクリングラリー実行委員会

〒010 秋田市山王新町4番1号

TEL 0188-64-4062

＜昭和60年度＞

全国ラリー・ブロックラリーの日程(予定)

60年度の全国ラリーおよびブロックラリーの日程が決まりましたのでお知らせします。

この他、センチュリーラン(3回)、マウンテンタイムトライアル(1回)、海外サイクリングツアーなどを予定しております。

- ・全国ラリー 8月24～25日(秋田)
- ・ブロックラリー
 - 北海道 8月2～3日(函館)
 - 東北 9月7～8日(岩手)
 - 関東甲信越 9月22～23日(東京)
 - 中部 9月14～15日(静岡)
 - 近畿 10月19～20日(滋賀)
 - 中・四国 10月12～13日(愛媛)
 - 九州 11月3～4日(長崎)

ブロック別指導者連絡会議開催

会員制度などの問題を討議

JCA主催のブロック別指導者連絡会議が、下記の日程で開催されることになった。

毎年1回、各都道府県協会の中心的指導者を集めて行なっているこの連絡会議には、いろいろと多様な問題が提起され、討議内容も深く突込んだものになる場合が多く、今年度はとくに「会員制度」など重要な問題が多いので、いろいろな意見のやりとりがあると思われる。

協議事項は次のとおり

- (1) 59年度の各県協会の活動状況について
- (2) 60年度事業計画(案)について
- (3) 会員制度および協会組織の強化について
- (4) その他

(ブロック名)	(日程)	(開催地)
北海道	2月16～17日	札幌市
東北	2月5～6日	宮城県
関東甲信越	1月27～28日	山梨県
中部	2月13～14日	静岡県
近畿	2月21日	大阪府
中・四国	2月3～4日	愛媛県
九州	2月23～24日	長崎県

山梨県サイクリング協会

20周年記念式典を開催

1月27日(日)山梨県湯村の常盤ホテルにおいて、山梨県サイクリング協会の創立20周年を祝う式典が盛大に催された。石川教育長、天野石和町長等の来賓祝辞のあと、石原護、花輪芳明、望月文永の三氏に功労者表彰が行われた。石原元理事長が代表して謝辞を述べられたが、「サイクリングをしている間不愉快なことは一度もなかった」という言葉に参加者は深い感銘をおぼえた。

式典の後、場所をシャンデリアの輝やく広間に移し山梨県サイクリング協会20年の功績をたたえ、今後の一層の発展を誓う祝杯が高らかに交わされた。

静岡県協会でハーフセンチュリー

77名が健脚を競う



静岡県協会では昨年11月18日(日)にハーフセンチュリーランを開催した。

当日のコースは御前崎の燈台前をスタートし、またゴールするもので77名が参加して健脚を競った。静岡県では初めての大会であったが事故もなくトラブルもなく終了し、協会員は第2回目も開催しようと意欲を燃やしていた。

〔参考記録〕

坂本昇	(24)	2:20:06
石谷幸裕	(23)	2:20:16
山崎満	(20)	2:21:05
鈴木保	(28)	2:22:34
御園井智三郎	(23)	2:23:55

第1回 世界マスターズ・ゲームズ カナダトロント大会

世界の熟年スポーツ愛好家とあなたも自己の記録を試して下さい!

マスターズ・ゲームとは?

●マスターズ・ゲームは、世界の熟年スポーツ愛好家のための多種のスポーツの祭典で、1985年8月7日～8月25日の期間(19日間)カナダのトロントにて記念すべき第1回大会が開催されます。

それ以後、オリンピックと同じように4年に1回、世界の大都市において開催される予定です。マスターズ・ゲームは、生涯を通じてのスポーツという理念を促進し、優秀性を追求すると同時に1人でも多くの人々が参加できるように創造されています。

マスターズの競技者は、地球上のあらゆる国から参加します。しかし、各国の代表としてではなく、参加者は各自のユニホームを着て、個人として競技します。

●第1回のマスターズ・ゲームは、22種目が選定されました。その種目は最低年齢基準に合致する人であれば誰でも参加できます。ほとんどの種目において、競技は5才～10才の年齢区分で構成されています。

●マスターズ・メダルは、それぞれの種目において、それぞれの年齢区分によって勝利者にさずけられます。今回の全ての登録者には、第1回マスターズ・ゲームの参加を証明する特殊な記念品がさずけられます。

自分の好きなスポーツを健康である限り、いつまでも続けたい。

マスターズ・ゲームズ。それは誰もが参加できる世界的規模の国際総合競技大会です。仕事や家事の合い間を利用しながら、人生の潤いとしてスポーツを愛し続ける素晴らしいライバルたちとともに、あなたも世界のレベルで自己の記録を試すことができます。

JCAでは、この第1回世界マスターズ・ゲームズの自転車競技に参加する熟年自転車愛好家のために、(株)日本旅行赤坂海外旅行団体旅行センターと共に下記の参加、応援ツア

ーを企画しました。世界のスポーツ史に新しい軌跡を残す、この価値ある第1回世界マスターズ・ゲームにあなたも参加し、世界のライバルたちと友情の輪を広げて下さい。

期間：8月8日(木)～16日(金) (9日間)

費用：548,000円(大会登録費用、エントリー費用は別途)

※登録費用(60カナダドル)

※エントリー費用(25カナダドル)

募集人員：20名(定員になり次第締切)

参加資格：<女子>(年齢枠)

30～34、35～39、40～44、45～49、50～54、55～59、60～64、65～69、70才以上

<男子>(年齢枠)

35～39、40～44、45～49、50～54、55～59、60～64、65～69、70以上

競技内容：

ロードレース (女子) 各年齢とも45km
(男子) 35～49才 90km
50才以上 45km

タイムトライアル (男女とも) 20km

クリテリウム (男女とも) 20km

日程：

8月8日 成田～トロント

8月9日 トロント市内観光、午後よりウォーム・アップ

8月10日 マスターズゲーム参加

早く競技を終了された方の為に

(※ナイアガラ観光 } 等をオプションで
ニューヨーク観光 } ションで
モントリオール観光 }

8月14日 別途用意しました。

8月15日 トロント～成田(16日着後解散)

問い合わせはJCAまたは下記へ

〒107 港区赤坂1-6-19 (勝永ビル)

(株)日本旅行 海外旅行センター
団体旅行

TEL. 03-586-4631 担当 中村

新書案内

自転車の文化史

——市民権のない5500万台——

佐野裕二著 文一総合出版刊
定価 2,800円 四六判 420ページ



明治初年、西欧文明が日本に上陸してきたが、その中に自転車もあった。いらい百余年、我々日本人の生活には大きな浮き沈みがあり、ことに太平洋戦争を境としてのさま変わりは目を見張るほどだったが、自転車は年月をかさねるにつれて、ますますわれわれの生活の中に浸透し、現在では自転車が日本の庶民史と切っても切れない存在となっている。

この本では、足でけて乗る自転車や、明治の初期に私財をなげうって自転車の製作に情熱を注いだ鈴木三元、夏目漱石がロンドンで自転車の練習に苦勞した話などの他、明治以降の庶民生活史の中における自転車と人間のかかわりあい、豊富なエピソードをまじえておもしろく語ると共に、最近の「都市と自転車」の問題までも取り上げており、自転車の産業発達史の史料としても興味深いものです。JCAでも扱っておりますので、送料300円を添えて現金書留でお申し込み下さい。

文一総合出版 TEL. 03-291-8049
東京都千代田区神田神保町1-32

第1回 全日本トライアスロン宮古島大会

4月28日に開催決定!!

最近、少しずつ話題になってきているトライアスロン大会が、4月28日に宮古島で開催されることになりました。今回の大会は、第1回全日本トライアスロン宮古島大会の名称で、島のほぼ全域を使用して開催されますので参加を希望する方は、下記の実行委員会に問い合わせ下さい。

期 日：昭和60年4月28日

競技内容：水泳（3km）下地町前浜
自転車（136km）宮古島2周
マラソン（42.195km）平良市営
陸上競技場公認マラソンコース
※以上の3種目を同一人の選手が連続して行う。

定 員：200名

参加料：東京発 105,000円～121,000円
大阪発 95,000円～111,000円

参加資格：19才以上の健康な男女で水泳、自転車、マラソン等の競技に経験を有し、大会参加誓約書を提出して大会本部より許可を得たもの。

日 程：

4月26日	13時～17時	登録、健康診断
4月27日	9時～12時	健康診断
	13時～17時	コース下見
	18時～20時	開会式
4月28日	7時～	競技開始
	23時	競技終了
4月29日	11時	表彰式

制限時間：水泳（2時間30分）
自転車（8時間00分）
マラソン（5時間30分）
※総合時間（16時間）

締 切：昭和60年2月28日(土)

宮古トライアスロン実行委員会

〒906 沖縄県平良市西里186

平良市役所内

TEL 09807-2-3751～3760(内線 46)